



37P
六丁の目



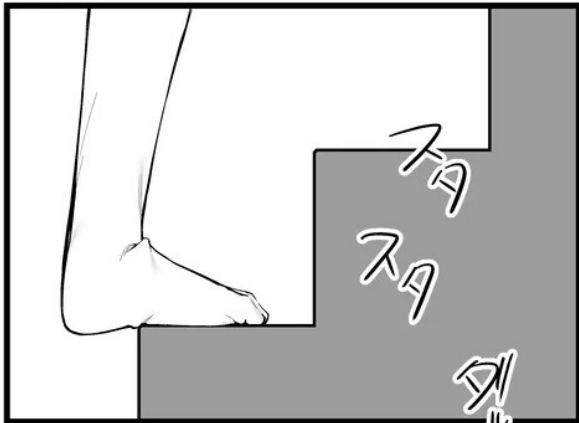


高橋君おちんちん
貸してください！



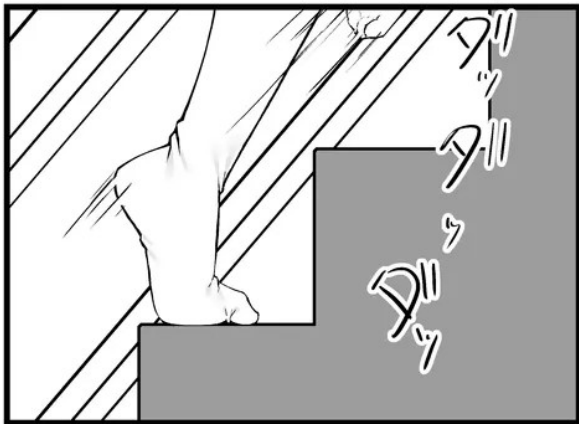
いないのー?

お母ちゃん〜?



フタ
フタ

ダッ



ダッ
ダッ
ダッ



ただいま〜



誰もいませんね〜?



★あやののあや★

あるところにエッチなことに
興味しんしんな女の子が
いました・・・そっ!~!
私、野中彩乃のことです!

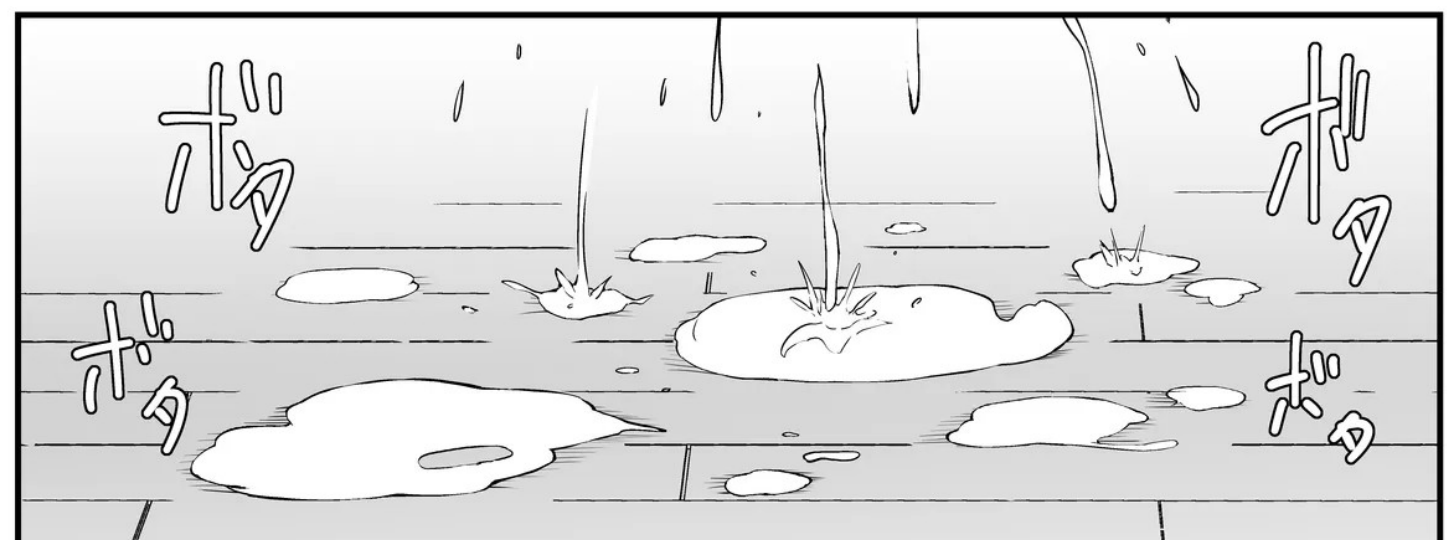
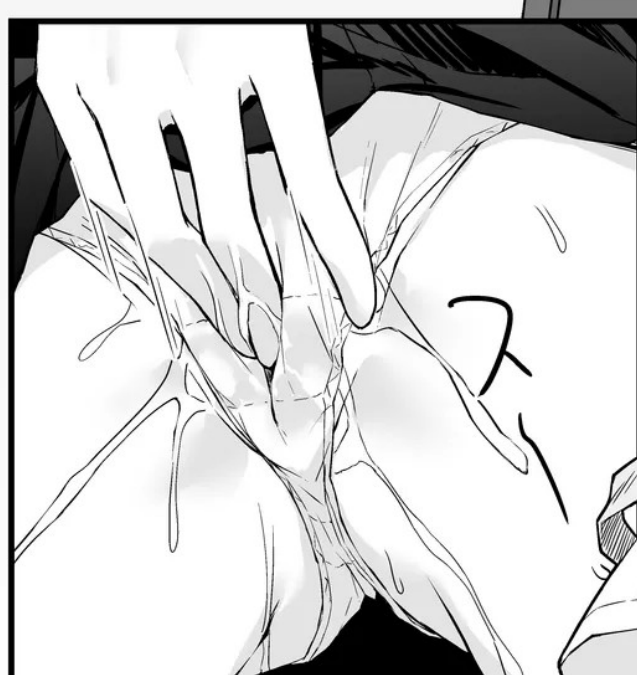
10タ、

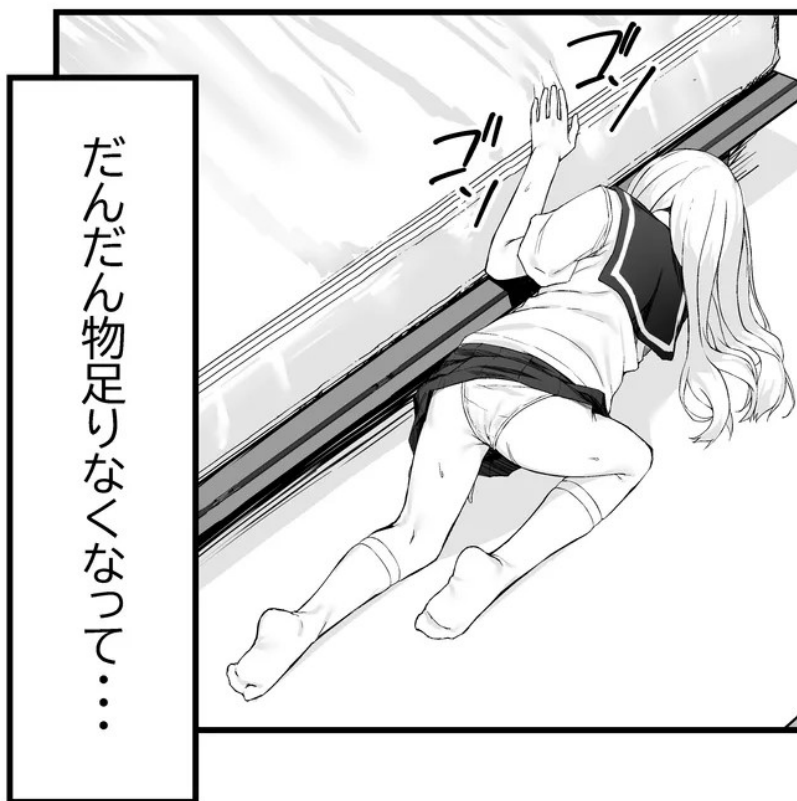
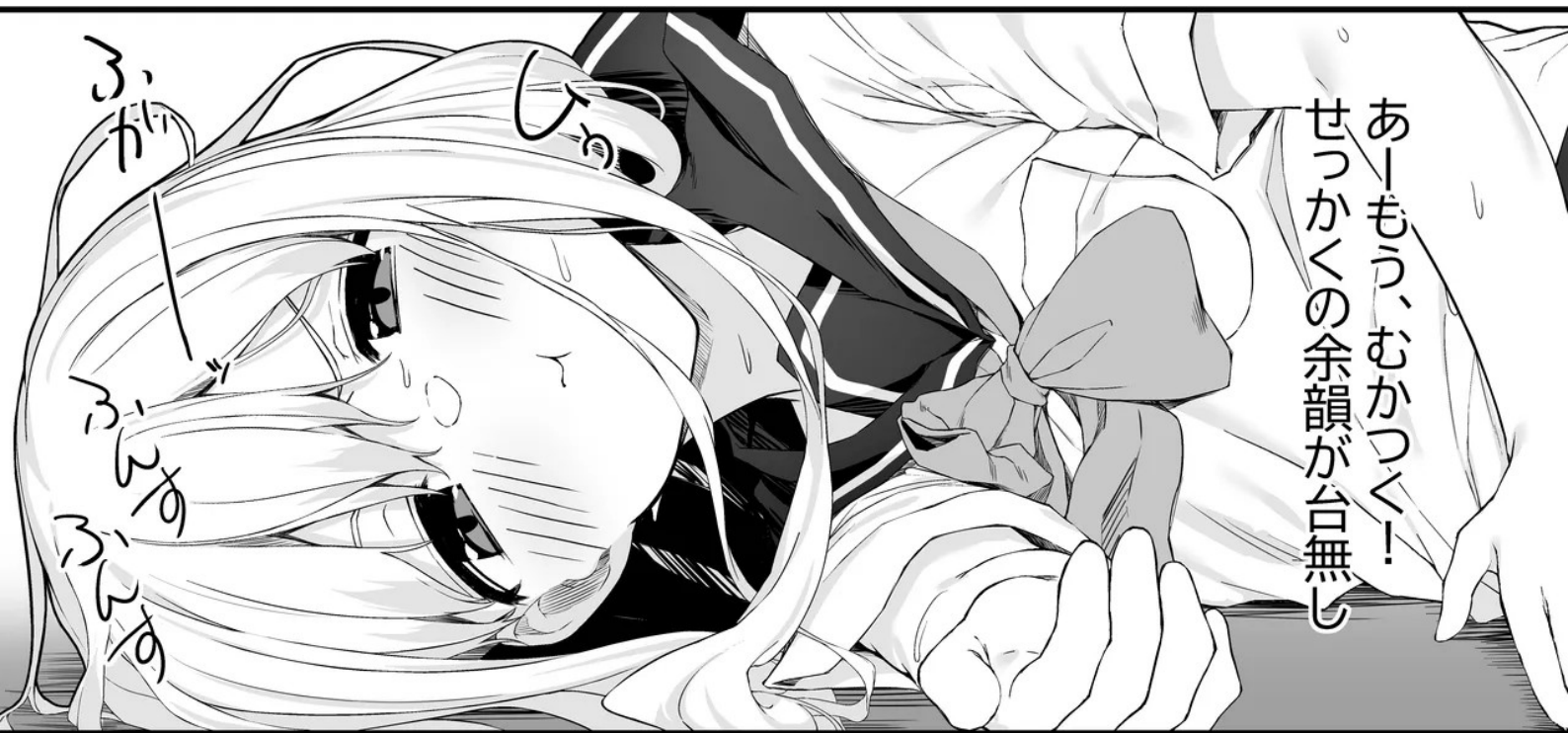
私はオナニーマイスター、
ひとりエッチの達人なのだ！

ふい

ん

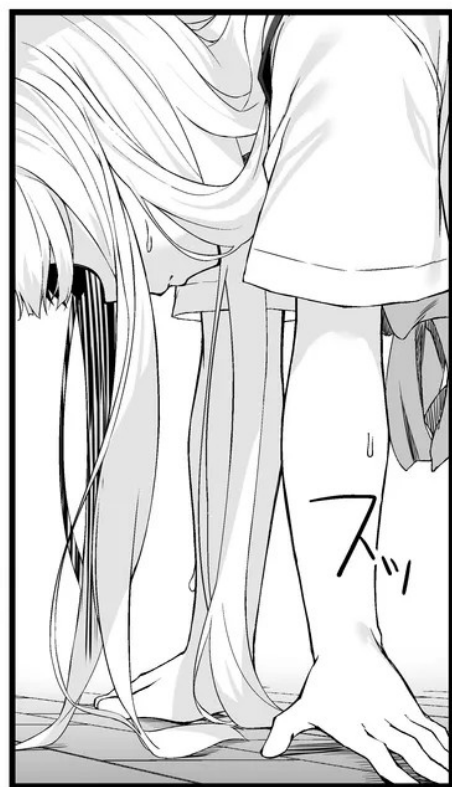
ふい





だんだん物足りなくなつて…

始めは指とかペンで、満足してただけど



美術の筆とかスマホの
バイブレーションー

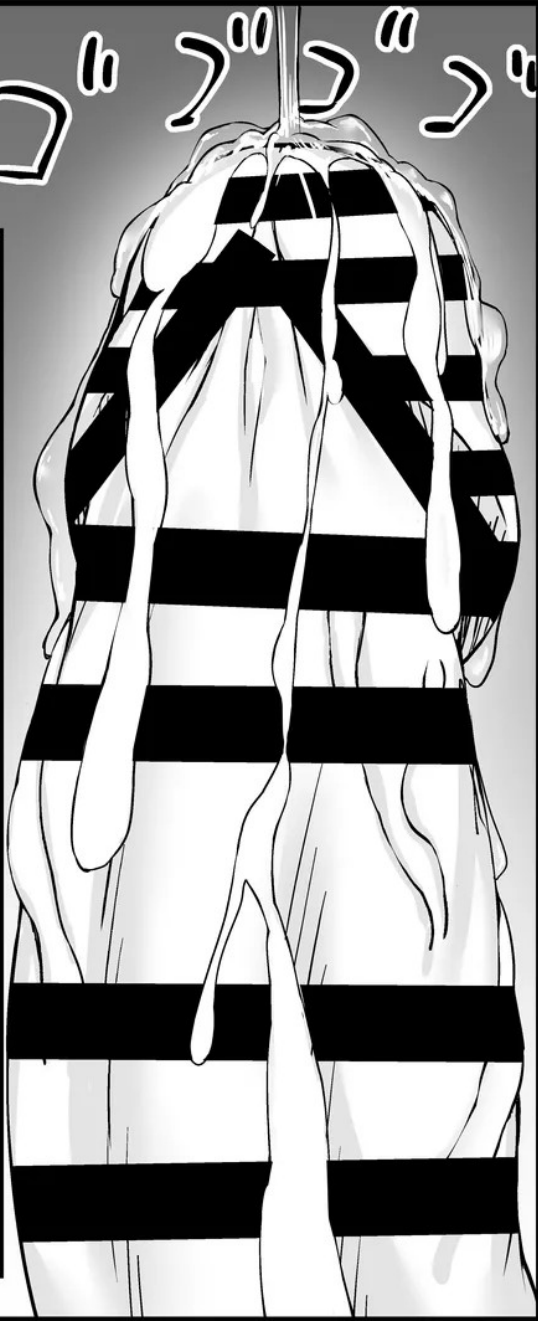


ついにーはー！

ふふふ

お多！

ディルドに処女を捧げた変態、
オナニーマイスター（自称）になったのだ！



それでは、
いただきます

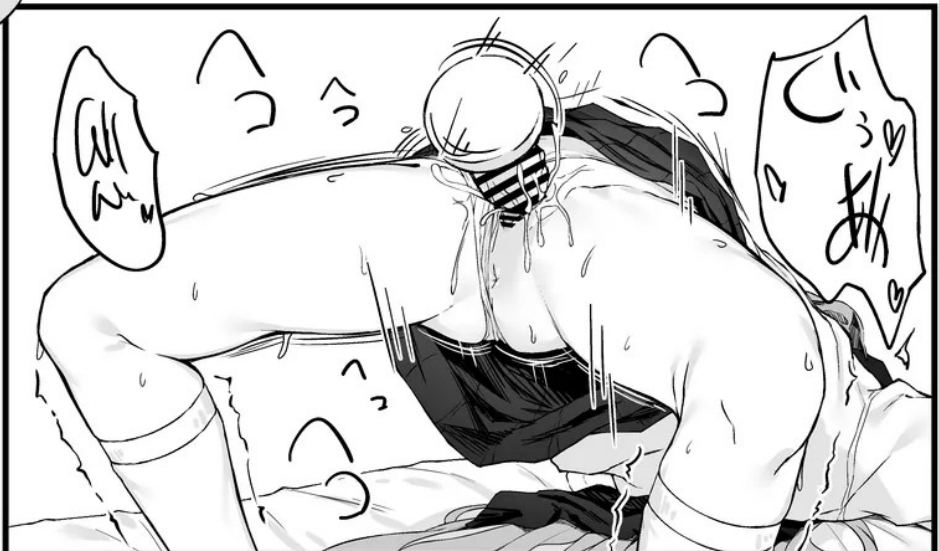
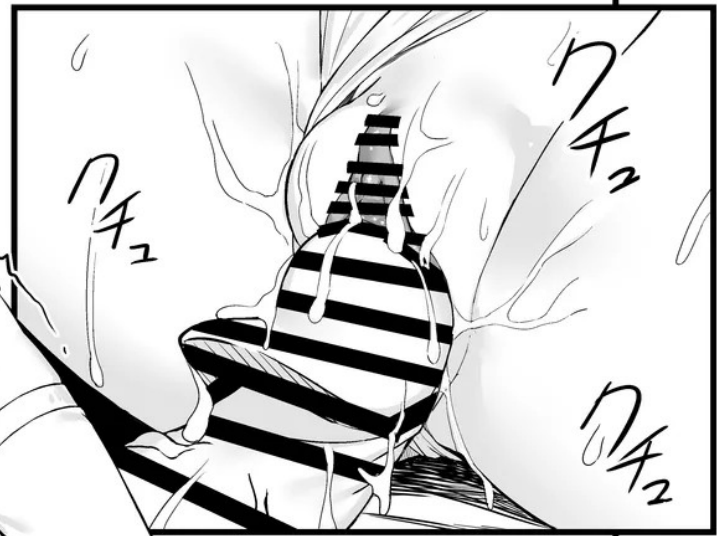
美味しそう

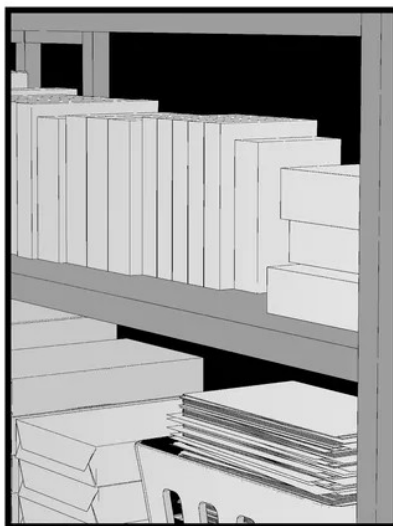
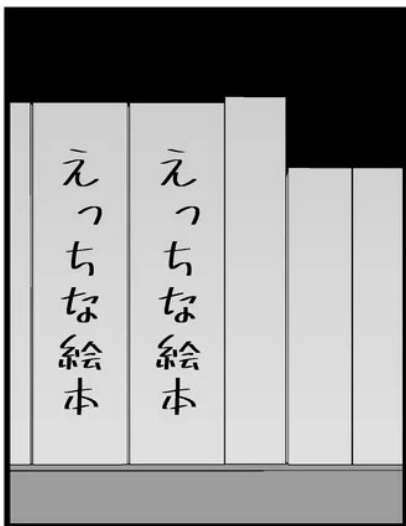


今日のアクメも
気持ちいい…
けど…

はぁぁぁ
あ

もっと脳みそ蕩ける
ようなアクメ…





金髪ヤリチン木村君？
いっぱいやってるっぽいし
私ともしてくれるかな？

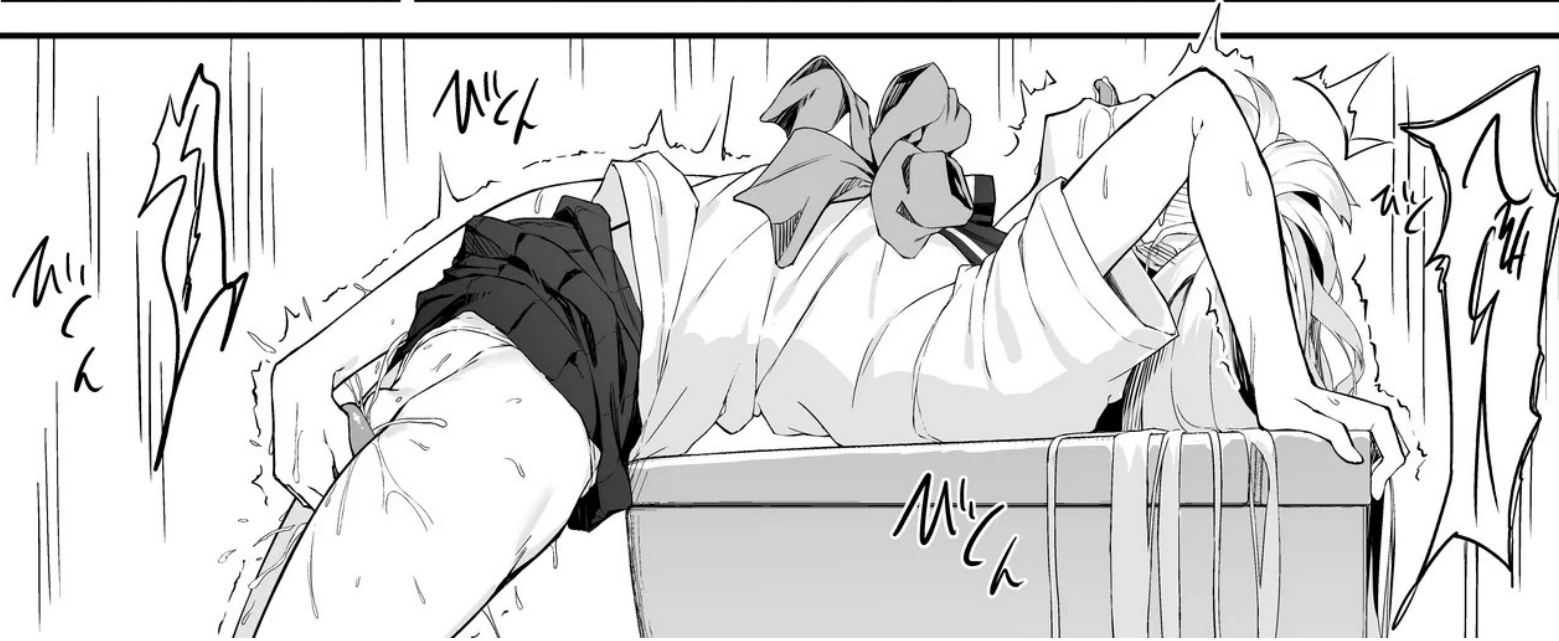
それともインキャボッチ
の井口君？出会いなさ
そうだし誘えば
してくれる…？

そっだー筋肉ムキムキ
高橋君、きつとおちんちん
もでかいはず！

あの巨体にホールドされて
おちんちんバゴバゴされたら…
考えただけで、あゝイキそ

この吸い付きすごっ

手が止まらん





学校のトイレで全力オナニー
気持ちよ♪

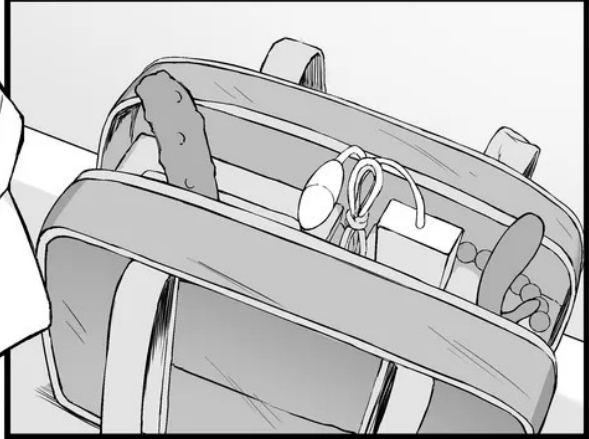


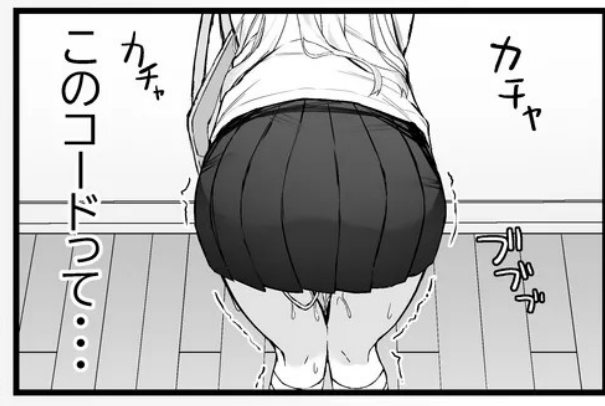
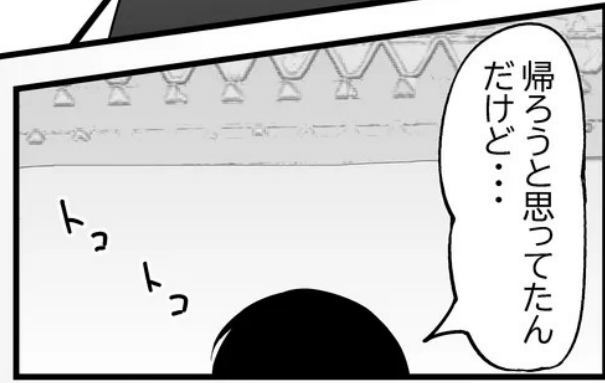
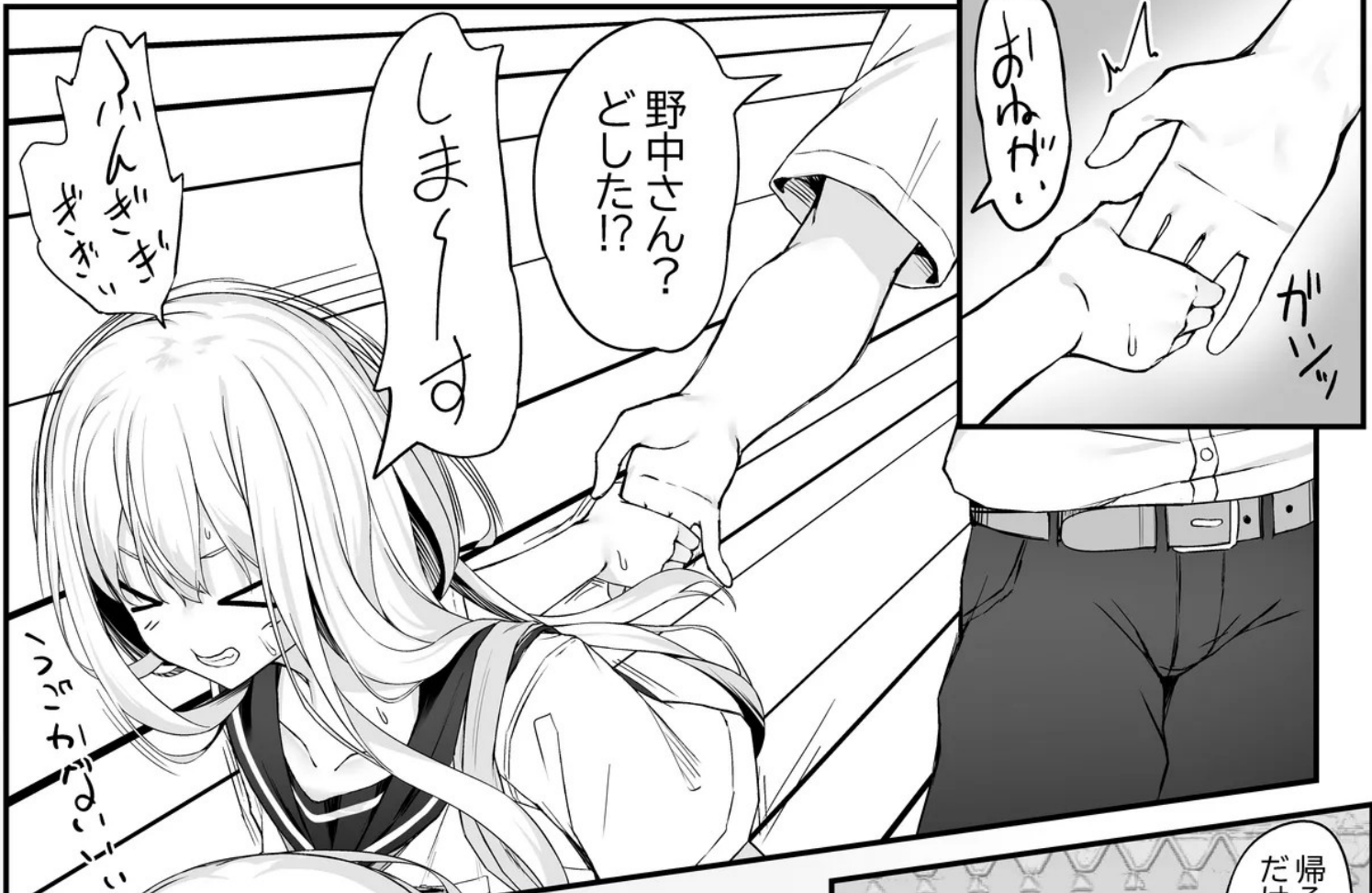
なんとかなる！

考えてても始まらない！
当たつてくだけよう！



……とは思ったものの
普通に言ったらドン
引きされる……
よね……





それでね、高橋君。
おおおおお、おちんちん！
貸してくだないー！

おち…自分が何言ってるかわかんないよ…
俺達付き合ってもないんだし
いきなりそんなこと言われても…

付き合ってたらいいの!?



そ、そりゃ野中さんは小キレくて
可愛いし付き合えたらすっごく
嬉しいし、そっぴいりいともしたいは…

これは
ちよろそっ



もっぴい押しー！



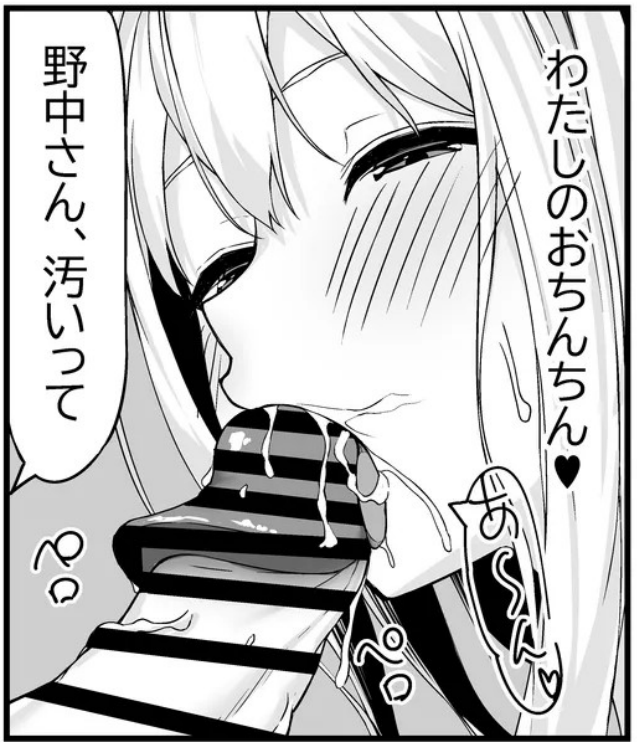
このロード気になっちゃ
たでしょ？

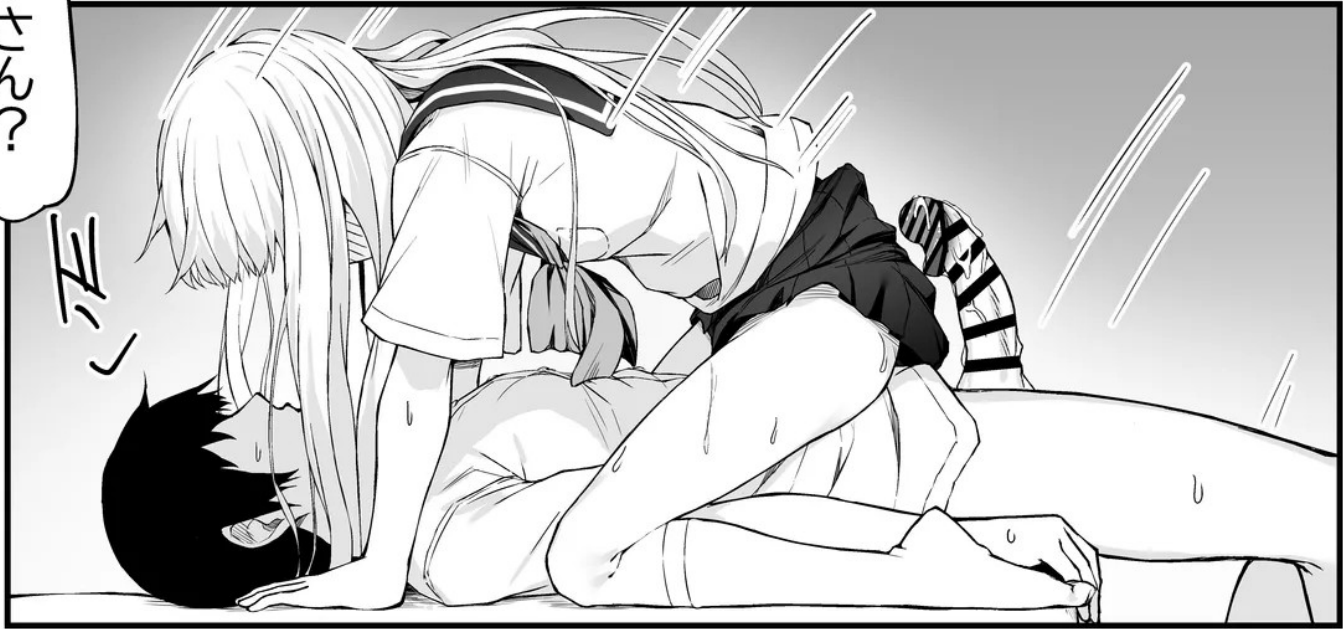
高橋君、引っ張って
いいよ♥

やっぱり、それって...

あー
ほん









半分も入っていない...



まだ先つちよしか...



もう、かゝるへいって

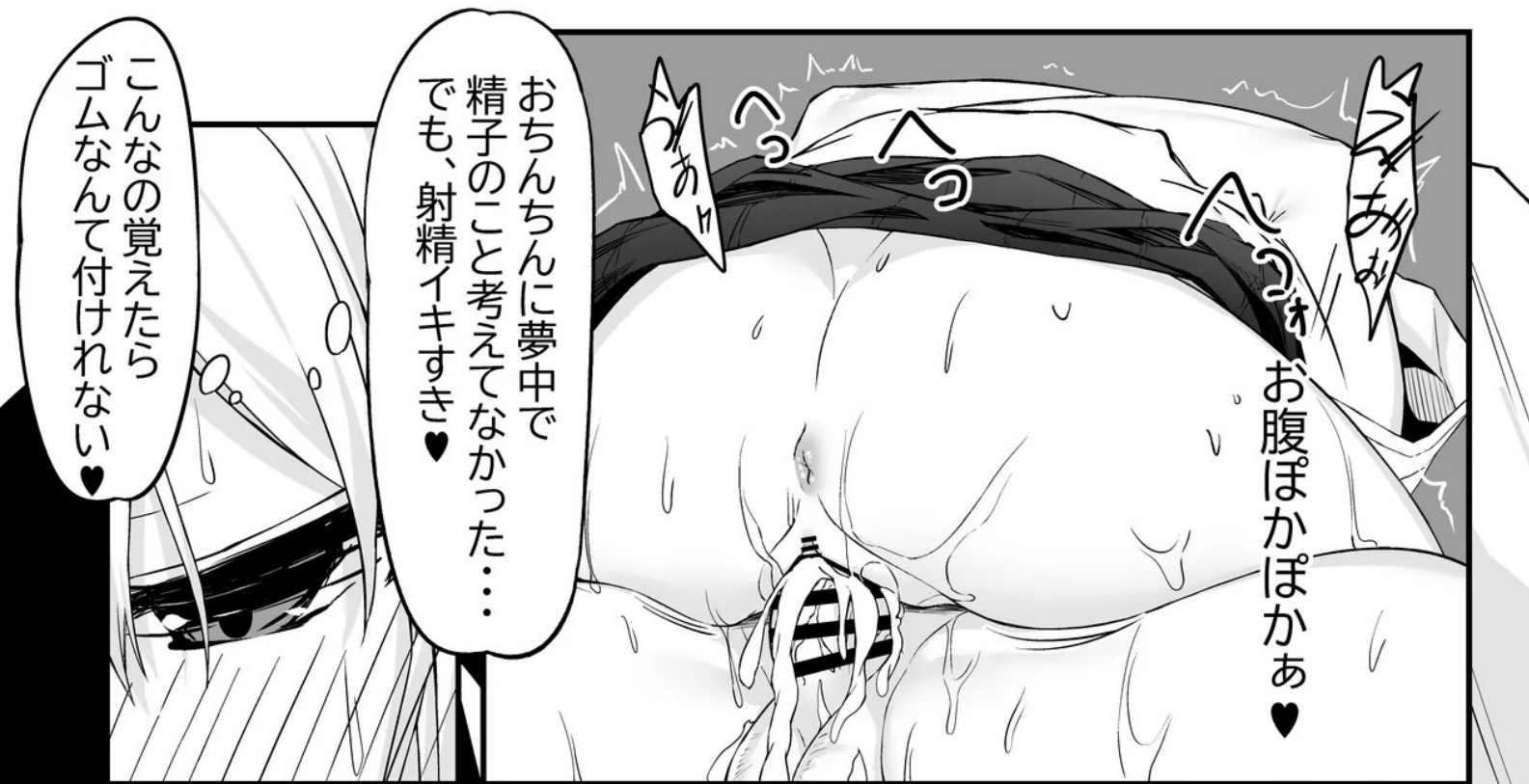


キリキリ

わかってたけど...二二まで...







こんなの覚えたら
ゴムなんて付けられない♥



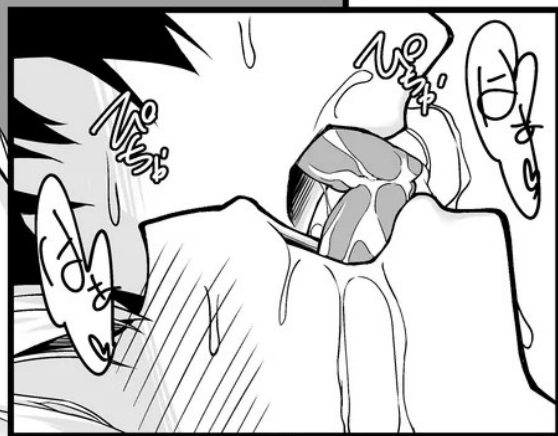
精子掻き出されるの、なんで
こんなに気持ちいいの♡

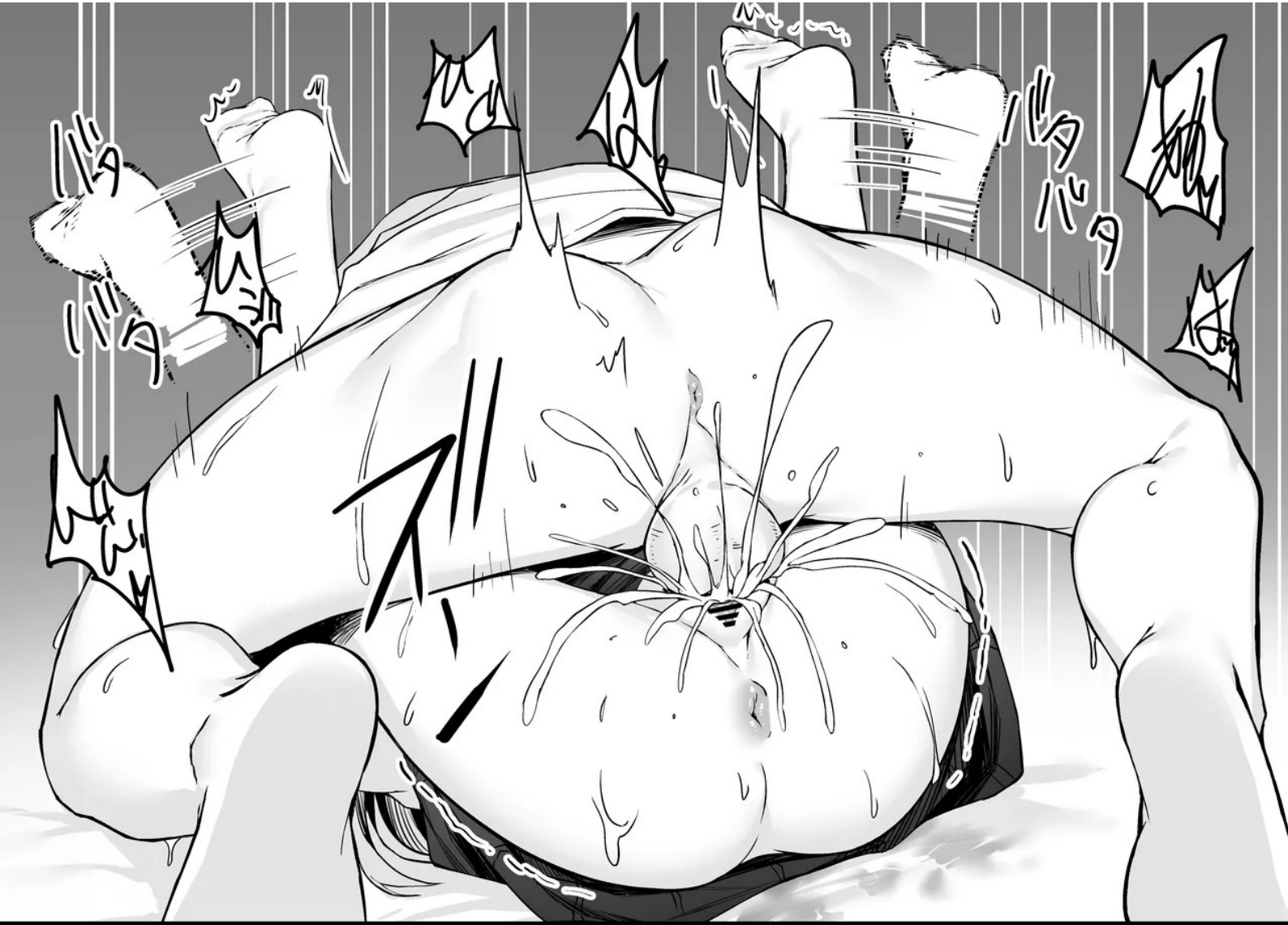


そんな聞き方されたら断れないよぉ♡



♡





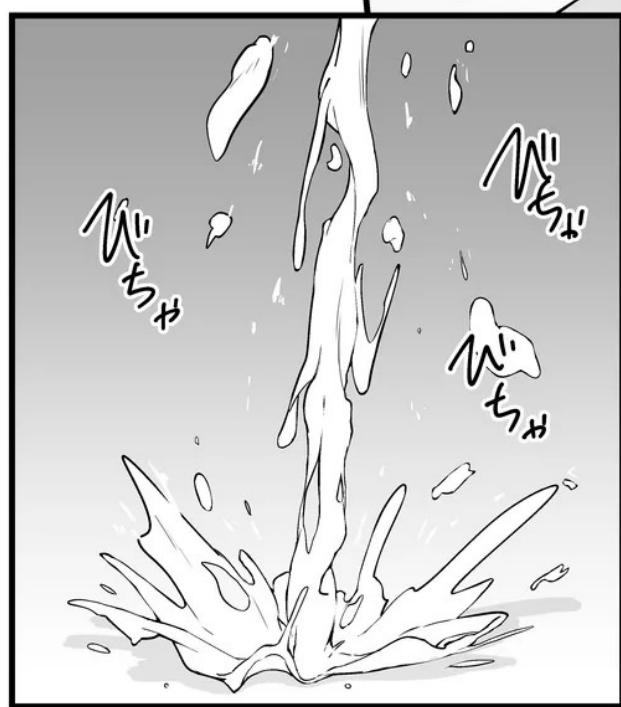
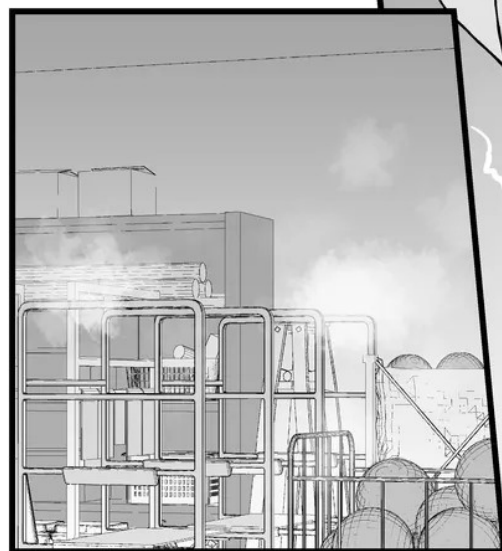
うそ、私うれしよんしてる……♡
高橋君がいないと、もう無理かも♡

はぁ
はぁ
はぁ

ひよほ

ひよほ

ひよほ

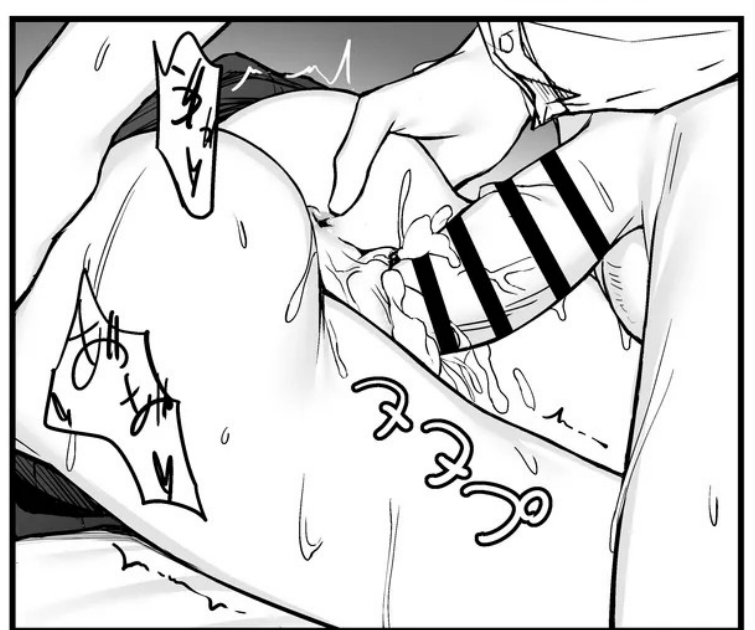
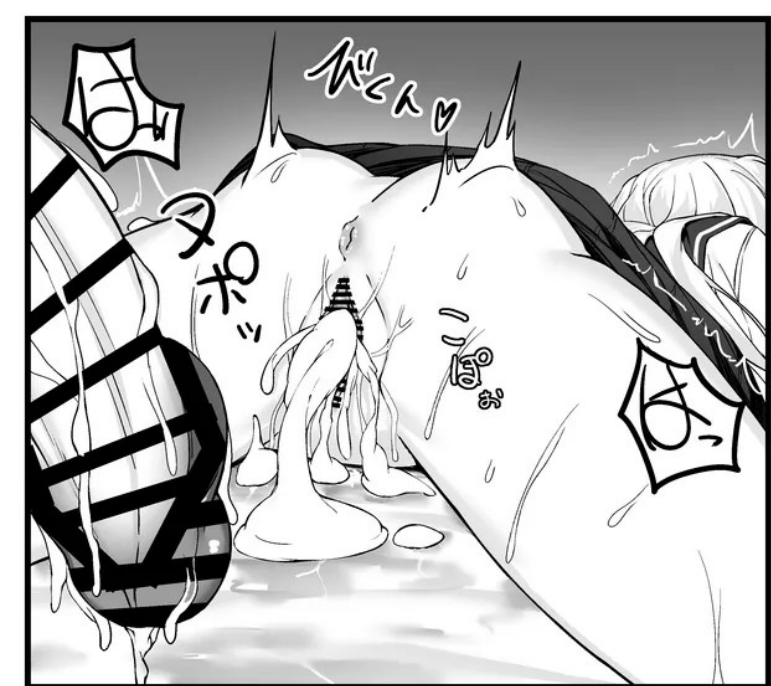
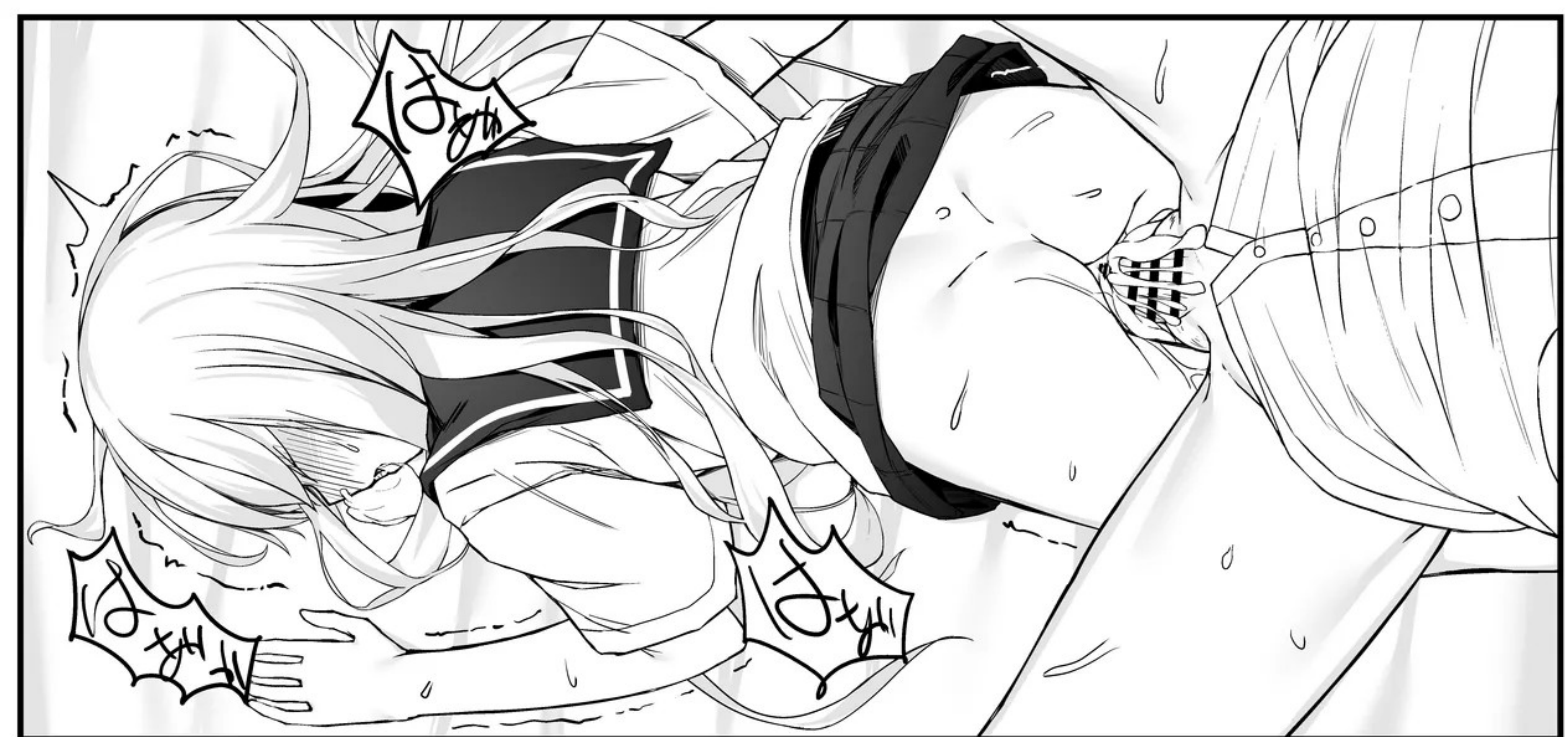
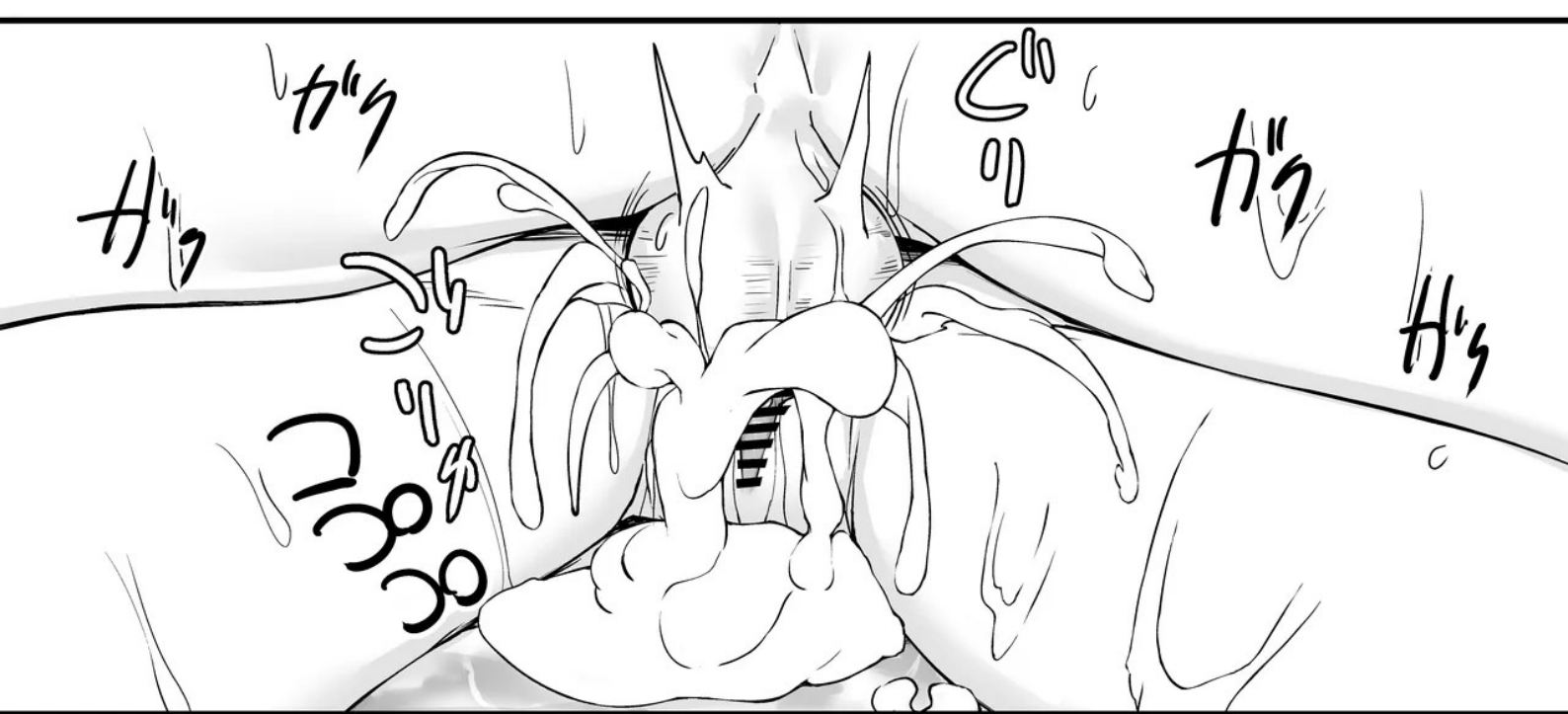
















たしかに

そ、それより！早く出よ！
そろそろ人来るかも！



あれ？足に力
はいんない…
これが敗北…



どうかした？

えっ!? なつなな
なんでもないよ!



初めてのお姫様
抱っこ(笑)



野中さん！
はい！
休憩したらもう
一回したい
別の日なら…



ありが…

まだ疲れてるっしょ
俺が運ぶよ

つづく？